

OVERSEAS

創立50周年記念GLS講演会特集

日時：7月10日（木）13時30分開演

場所：サルビアホール

演題：「知を生み出す仕事」

講師：中尾実樹さん

九州大学大学院農学研究院

生命機能科学部門水族生化学分野 教授



本校の2回生である先生は、主に比較免疫学・水産科学を研究していて、様々な動物の免疫機構や、“免疫因子”が果たす“生理機能”を幅広い視点で理解できる若者を増やしたいと思っていらっしゃるそうです。

大学では研究がメインなのでまだ問い合わせを誰も知らないことがほとんどです。答えの仮説を立て、予想しなかった実験データが出たとき新発見の予感がするそうです。実験をやっている学生はとても不安なので、その不安をやわらげるよう励まし助言を与えるのが教授の仕事だとおっしゃっていました。

将来の夢に対する答えを持っておくことが大事で自分は何が好きかを本気で探し、探すことを楽しむこと、「達」に到達することを焦らなくても直感に従い、その結果迷ってわからなくなってしまったロジカルに考え、選択肢が多そうな道を選ぶこと、自分で決められなかつたら相談すること（相談優先度：1友達 2兄弟 3先生 4親）などのお話を熱心にわかりやすく語ってくださいました。

質疑応答では多くの生徒から積極的に挙手があり、先生もひとつひとつ丁寧にこたえてくださいました。その一部を紹介します。

Q1：農学部の魅力は？

面白なことを見つけたときこれは役に立つかもしれないと思えること。自然とかを見ながらやることで、広い視野をもてる。

Q2：水産系はどこの大学がいい？

東京海洋大学。水産に特化していてユニークな研究をしている。水産系に関して日本のトップ。

Q3：研究で使う魚は釣る？

鯉とか鮎は買ってクローンを作る。エイは釣ったりしている。

Q4：好きな魚は？

ウッカリカサゴ。

Q5：今まで一番良かった研究は？

人や哺乳類は免疫が1個、他の魚は免疫を何重にも重ねて持っていることを発見した研究。

Q6：将来の進路の選択肢に迷ったときどんな道をとるべきか？

「べき」と決めつけなくてよい。その時の自分の興味関心に従うことで自然に道がひらける。

Q7：インスピレーションがわからないときはどうしたらいいか？

旅に出よう。